

地域再生計画

1 地域再生計画の申請主体の名称

香川県

2 地域再生計画の名称

かがわ賑わい創出計画

3 地域再生の取組を進めようとする期間

平成16年度～平成17年度

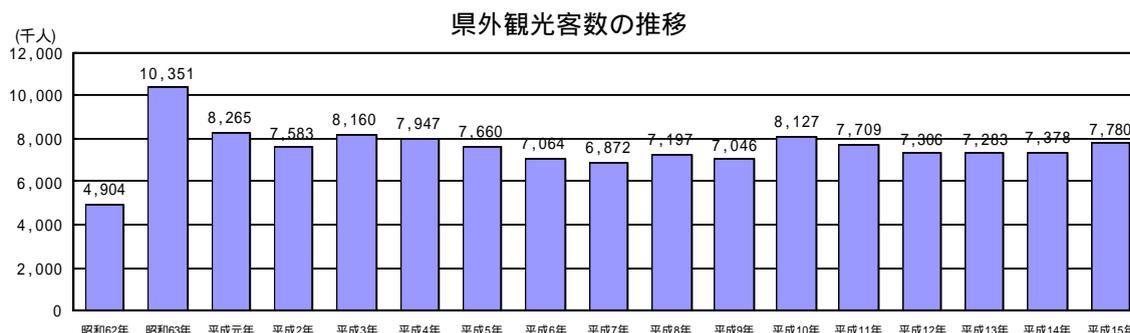
4 地域再生計画の意義及び目標

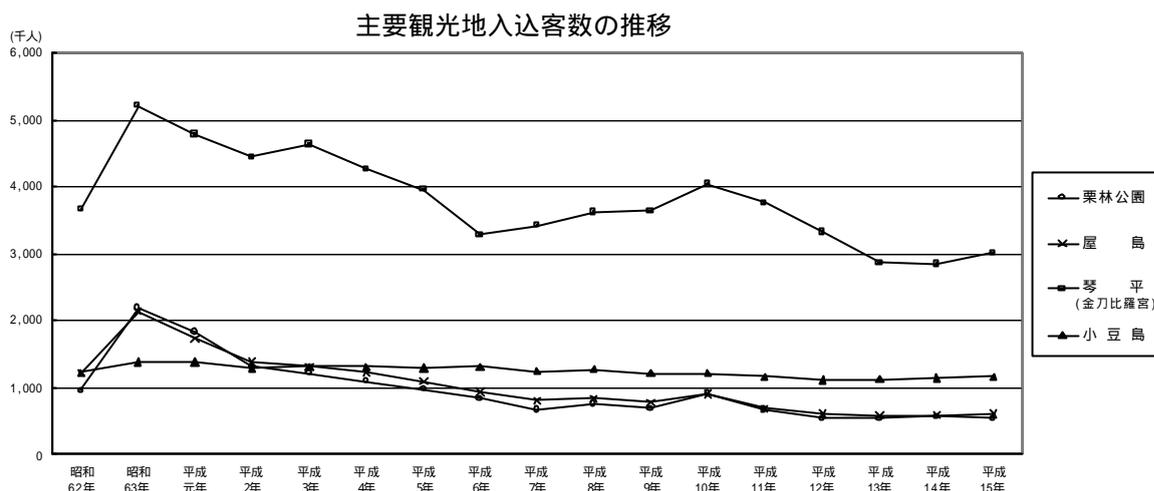
(1) 観光の現状

本県を訪れる観光客は、昭和63年の瀬戸大橋の開通をピークに、その後、景気低迷による個人消費の減少、旅行形態の変化等の影響により、減少傾向を示し、平成10年に明石海峡大橋の開通に伴い、800万人を超したものの、ここ数年は、730万人程度で推移してきた。

平成15年は、5月のSARS騒動により、小豆島を中心に宿泊客の予約キャンセルが相次いだ。その後の官民一体となった誘客キャンペーンや旅行エージェントによる旅行商品支援、首都圏での広報活動、さらにはさぬきうどんブームにも支えられ、778万人と対前年比5.4%の増加となった。

また、本県では、「瀬戸内海国際観光特区」と「さぬき農村ふれあい特区」が第3号として認定されており、特区における特定事業の積極的活用により、韓国からの観光客の誘客促進による国際観光の振興、そして、グリーン・ツーリズムの推進を強力に推し進めている。





平成16年度 観光香川は「賑わい創出元年」

平成16年度は、本県にとって賑わい創出の年である。

金毘羅さんの33年に一度の平成の大遷座祭や全国豊かな海づくり大会といった全国規模のイベントや、4月4日には、県都高松のウォーターフロント・サンポート高松がグランドオープンし、それを記念し「サンポートピア2004」と銘打った多彩なイベントをリレー形式で展開していく。

また、本県で長年創作活動を行ったイサムノグチの生誕100年の年や、瀬戸内海が我が国で初めて国立公園に指定されて70周年の節目の年でもあり、さらには、一時休園していた中四国最大のテーマパーク・レオマワールドが4月11日にニューレオマワールドに生まれ変わり、まさに「香川を売り出す絶好のチャンス」を迎えている。

そこで、県では、本年を「賑わい創出元年」と位置づけ、全国的なうどんブームをも追い風に、観光の振興をはじめとした賑わいづくりを最重点課題に位置づけ、県民、民間企業、各種団体、県、市町が一致団結し、交流人口の増加を通じた県経済の活性化と雇用の拡大の実現に積極的に取り組んでいる。

(2) 意義

このような状況を踏まえ、本県では、15年6月に、地域経営という視点のもと、本県経済を持続的に発展・活性化させるために、次の2つを戦略目標とする中長期的な方針を、「中長期的な経済活性化戦略」として取りまとめ、強い目標意識を持って県経済の活性化に取り組んでいる。

そして、これまでに認定されている「瀬戸内国際観光特区(第3号認定)」及び

「さぬき農村ふれあい特区（第3号認定）」のより一層の推進に加え、本地域再生計画を積極的に活用することにより、基本戦略の第1である「賑わいづくりと連携した観光の振興」に多大なる寄与が図られる。

「中長期的な経済活性化戦略」

平成 15 年 6 月 23 日：香川県経済活性化戦略本部策定

【戦略目標】

産業空洞化の流れの中で、地域経済として自立できる地域内発型の経済活性化

来るべき広域連携の時代を睨み、四国における中枢拠点機能の確保

その中で、県民からの意見をもとに、今後定住人口の増加が困難な中で、交流人口の増加を通じて活性化を図ることが、県として重要であり、また、中長期的に見ても、当面は、観光の県経済に対する影響・効果が最も大きいと考え、戦略目標を達成するための基本戦略の第1番目に「賑わいづくりと連携した、観光の振興」を掲げ、県経済の活性化に取り組むこととしている。

<基本戦略>

- 1 賑わいづくりと連携しつつ、観光振興を推進する。
- 2 新規・成長産業を創出・育成するとともに、バイオ分野や環境関係を中心とした産業集積の形成を図る。
- 3 地域産業（中小企業、農林水産業）の高度化を促進する。
- 4 広域的な支店機能を有する事業所の立地を促進する

基本戦略における支援措置の関係

全般的な観光支援

〔支援制度の活用〕

- ・観光関係の施策連携（共通プラットフォーム）

観光に関連する施策全般について、本県独特の自然環境や文化、産業等を活かした新たな提案を、各省庁が横断的に進めることにより、輝きを増した県土の交流人口の増加が期待できる。

主な施策方向（中長期的な経済活性化戦略）との関係

さぬきうどんの最大限の活用

さぬきうどんを前面に押し出した情報発信やツアー企画の設定を促進するなど、さぬきうどんのブランド力を最大限に活用した観光客誘致を図る。

- ・うどん店を含む観光コースの設定と旅行エージェントによる旅行商品の造成
- ・うどんフェスティバルの開催（「サンポートピア 2004」にて開催）
- ・パンフレット、ホームページ等による情報発信の強化

〔支援措置の活用〕

- ・観光客向けタクシー等タクシーの運賃・料金の多様化を実現するための環境整備

タクシー業界が、さぬきうどんブームという観光客のニーズを的確に捉え、うどん店を巡る観光客が利用し易いよう、割安の時間制運賃で「うどんタクシー」を展開している。こうした事業者自らの工夫や努力を制度面で支援することが可能となることで、「さぬきうどん」等を活用した継続的な観光客誘致を図るとともに、マイカーの増加や不況によって需要が減少しているタクシー業界の活性化につながることを期待できる。

観光情報の戦略的発信

マスメディアや「香川・愛媛せとうち旬彩館」、さぬき大使館等を活用し、地域・性別・世代別等受け手の特性を踏まえた戦略的な情報発信に努める。インターネットや携帯電話を通じて、画像・映像、音声等も活用した観光地や特産品等を紹介し、観光客にとってより利便性の高い最新情報を提供する。

- ・香川のブランド化を推進するため、全国に向けた情報発信を強化
- ・首都圏を中心に、テレビ、新聞、雑誌等を活用したPR（DVD、ポスター、プレスツアー等）
- ・本県出身有名人等を活用した「クチコミ」等によるPR活動
- ・「香川・愛媛せとうち旬彩館」や「かがわプラザ」、「さぬき大使館」等を活用した一元的な情報発信を強化
- ・「かがわプラザ」を活用して、体験型イベントの開催や観光客や県民に対して、憩いの空間の提供と県産品の情報発信を行い、かがわブランド物語の演出を図る。

〔支援措置の活用〕

- ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

観光地づくり・観光客の利便に資する情報提供が可能となることで観光客の増加が期待できる。

老舗観光地の賑わい再生

栗林公園、屋島、琴平、小豆島、塩江などといった老舗観光地において、地域の多様な担い手の参加を得ながら、ハード・ソフトの工夫、魅力づくりを行い、観光地としての賑わいの再生を図る。

- ・屋島 平成 17 年のNHK大河ドラマ「義経」放映（予定：17 年 8 月）に照準をあわせ、牟礼町、庵治町とともに源平合戦時の史跡等の整備を図る。
- ・金刀比羅宮 33 年に一度の「平成の大遷座祭」に関連した事業を開催し、金刀比羅宮、香川のイメージアップを図り、県外観光客の誘致を行うとともに、「おもてなし」の充実を計り、リピーターの確保を推進する。
- ・善通寺 平成 18 年、創建 1200 年記念事業の開催に併せ、「空海」＝「お遍路」からイメージする「癒し」を全国にアピールする。
- ・小豆島 島内有志による「魅力あるまちづくりを考える会」による地域活性化事業に積極的に支援する。
- ・栗林公園 栗林公園動物園跡地を中心とした東門周辺の再整備を進める。

〔支援措置の活用〕

- ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

老舗観光地においても、これまでにない多様な地域の担い手の参加を得ながら、老舗観光地ならではの味わいの上に、新しい魅力づくりに再挑戦する時期に来ており、観光地づくりの基盤となる人材の育成や、情報発信に対する情報提供等の支援が可能となれば、賑わい再生に向けて弾みがつき、観光客の増加が期待できる。

新しい魅力を持った観光資源の強化・創造

やさしい自然、地域文化・芸術、環境を柱に、新たな観光資源を創造するとともに、観光資源をテーマ別にネットワーク化するなどして、魅力を強化する。

- ・全国的に注目される定期的な祭り、イベントの開催などによりシンボルの創造を行う。
- ・フィルムコミッションを推進するとともに、伝統芸能、アート、古い町並みなどの地域資源を発掘・活用し、新たな観光の魅力づくりを行う。
- ・観光資源をテーマ別にネットワーク化するとともに、そのテーマに沿ったハード・ソフトの基盤を整備し、テーマ観光を推進する。
 - * 四国88カ所巡りのいやしツアー
 - * 豊島・直島・小豆島のエコツアー
 - * 瀬戸内海を活かし、女木島・男木島などの離島を繋ぐブルーツーリズム、洋上観光
 - * イサムノグチなどの現代芸術、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、東山魁夷美術館（仮称）、直島の現代建築群などを活かしたアートツアー
 - * 地場産業の生産現場を巡る体験ツアー
 - * グリーンツーリズム、里山ツアーなど
- ・地域の資源を活用し、磨き上げるまちづくり型観光を支援する。
- ・郷土の食文化、素材を活かした魅力ある料理の提供を促進する。

〔支援措置の活用〕

- ・映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化
- ・民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化
- ・道路使用許可・道路占用許可の手續改善

映画等のロケーション撮影や新たなイベント等の積極的な誘致、支援が推進され、新たな観光資源の創造が可能になる。

《15年度の映画・テレビ等の実績》

- ・映画「世界の中心で、愛をさけぶ」、「機関車先生」、「ROAD 88」等
- ・テレビドラマ「十津川警部シリーズ 31・四国連絡特急殺人事件」、「金田一耕助シリーズ・犬神家の一族」等

また、フリーマーケットや海鮮市、産直市など、地域の賑わいづくりを進めるまちづくり協議会等の継続的な事業の実施が容易になることで、民間事業者等によるまちづくり型観光の活発化が期待できる。

・エコツーリズムに対する支援

本県では、産業廃棄物の不法投棄現場となった豊島とその廃棄物をリサイクルする施設を整備した直島、そして美しいオリーブと平和の小豆島を訪れ、自然を活かした観光と環境調和型地域振興の両立を目指し、エコツアー推進事業を企画しており、一層の事業の推進が期待できる。

観光ニーズの変化への対応

サンポート高松を核とした都市型観光の推進等により、観光客のニーズの変化を踏まえ、小グループ化、滞在型・体験型・まちづくり型の観光に対応した観光施策を展開する。

- ・サンポート高松を核とした都市型観光の推進
- ・地域資源を活用し、磨き上げる「まちづくり型観光」を支援
- ・エコツアー、グリーン・ツーリズム、アートツーリズムなど体験型観光等の推進

〔支援措置の活用〕

- ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

多様化する観光ニーズを踏まえた観光地づくりや商品開発を行ううえで、先進事例や支援措置等の情報提供が得られることは、きめ細かな企画を促進し、観光客誘致が期待できる。

受入態勢・おもてなしの心の向上

「おもてなしの心」を持って県外客に接することができるよう、観光関係者をはじめとした県民意識の高揚を図り、県外客を温かく受け入れる態勢づくりを推進する。

高齢者・障害者・子ども連れも含めて誰もが安心して観光を楽しめるよう、観光施設やサポート体制の整備を促進し、バリアフリー観光を推進する。

- ・「おもてなし運動」キャンペーンの展開、接遇研修の実施
- ・ガソリンスタンド等の香川ミニ観光案内所で分かりやすい観光案内の推進
- ・外国人観光客に対応できる観光案内所や観光施設の充実

〔支援措置の活用〕

- ・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

観光地づくりの核となる人材の育成を図ることなどにより受入態勢を充実させ、リピーターの増加につなげる。

広域観光・国際観光の推進

「癒しの四国」を中心に四国各県と連携した広域観光を推進するとともに、高速道路網の整備を踏まえて、近畿・中国地方も含めた新たな広域観光ルートの開発・定着を図る。特に、外国人観光客に対する広域観光連携を進める。

韓国、台湾、中国を標的として、旅行エージェントの招請や情報誌でのPR、さぬきうどんの海外進出などにより、本県への関心を高め、観光客の誘致を進める。

全国規模の会議や国際会議の誘致を図るとともに、参加者の観光誘導の工夫を強化する。

〔支援措置の活用〕

・「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

外国人対応マニュアルや研修を通じて、外国人も安心してひとり旅ができる観光地づくりを行うことにより国際観光の推進が図られる。

(3) 目標

観光産業は、多くの産業が関連する総合産業であり、観光地を訪問する観光客は、観光施設はもちろん、交通機関や宿泊施設、飲食業や土産品店等の商店街を潤し、さらに、原材料の調達を通じて本県の広範な産業に関わり、本県経済・雇用に特に大きな波及効果を及ぼすことから、今後、定住人口の増加が困難な中で、交流人口の増加を通じた本県経済の活性化を図るために、認定済み特区の特定事業の積極的活用及び地域再生計画の支援措置の積極的な活用とともに、県独自の施策を一層推進し、「賑わいづくりと連携した、観光の振興」に積極的に取り組む。

【目標】

県外観光客を、平成17年までに900万人に増加させる。

《平成15年 778万人 ⇨ 平成17年 900万人》

5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

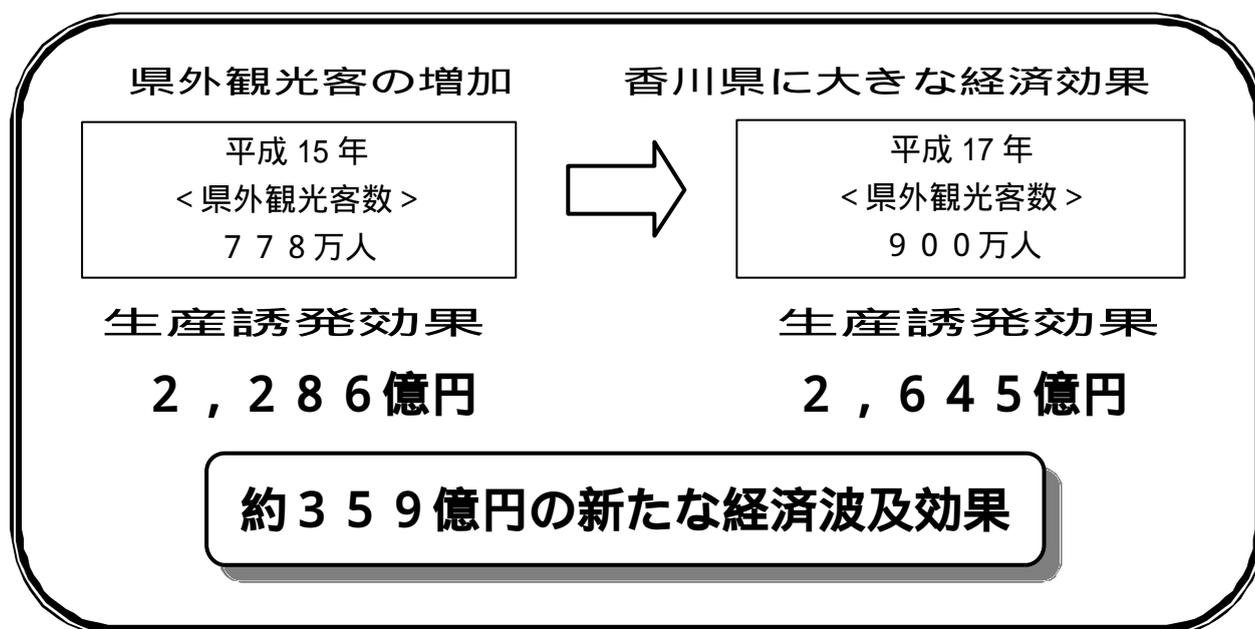
県経済の活性化

観光産業は、多くの産業が関連する総合産業であり、観光産業の活性化は地域の他の多くの産業にも積極的な波及効果を及ぼし、本県の産業振興、地域の活性化等に結びつく。

認定済み特区の特定事業の積極的活用及び地域再生計画の支援措置の積極的な活用とともに、県独自の事業を一層推進し、「賑わいづくりと連携した、観光の振興」に積極的に取り組むことにより、平成17年に県外からの観光客が900万人となった場合には、県経済へ2,645億円の波及効果が見込まれる。

<かがわ賑わい創出計画による経済波及効果>

(平成17年：県外観光客900万人として推計)



6 講じようとする支援措置の番号及び名称

- 201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化
- 201002 民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化
- 230001 道路使用許可・道路占用許可の手續改善
- 212014 観光関係の施策連携（共通プラットフォーム）
- 212016 「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実
- 212019 観光客向けタクシー等タクシーの運賃・料金の多様化を実現する

ための環境整備

2 1 3 0 0 4 エコツーリズムに対する支援

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組

(1) 構造改革特別区域の名称 瀬戸内海国際観光特区

特定事業の名称 6 0 1 短期滞在査証の発給手続きの簡素化事業

取組みの概要 韓国からの観光客の観光ルートに瀬戸内の島嶼部が入っている場合に、短期滞在査証の発給手続きを簡素化することにより、外国人観光客の誘致と島嶼部の振興を図る。

(2) 構造改革特別区域の名称 さぬき農村ふれあい特区

特定事業の名称 4 0 7 農家民宿における簡易な消防用設備等の容認事業

1 0 0 5 農業生産法人の行う農業関連事業の拡大事業

取組みの概要 農業生産法人が行う観光農園や市民農園などの農業体験施設や農家民宿、農畜産物の販売施設等の管理・運営事業の拡大を容易にするとともに、農家民宿の開設に係る消防法の規制を緩和し、より積極的にグリーン・ツーリズムを推進する。

関連事業

(1) 21 世紀の観光地づくり推進事業

本県が有している自然、歴史・文化的資源、食や物産を掘り起こし、新たな観光資源として戦略的に活用し、魅力ある 21 世紀の香川の観光地づくりを進めるもの

まちづくり型観光推進事業

地域住民等が主体となって、地域の資源を発掘し、磨き上げる「まちづく

り型観光地」づくりを目指すとともに、主要観光地等において、新しい魅力を付加し、地域の振興を図るために行う事業を支援する。

元気な観光地づくり支援事業

主要観光地等において、地域資源を活用し、観光地域の活性化や県外から多くの観光客の誘客が期待できる県下全域に波及効果が期待できる大規模なソフト事業等を支援する。

(2) めん喰らう香川演出等事業

さぬきうどん、エコツアー、グリーン・ツーリズム、洋上観光など、香川県ならではの地域特有の観光資源を情報発信することにより、県外観光客の誘客を行い、観光客数の増加を図る。

めん喰らう香川演出事業

ブームのさぬきうどんを活用し、香川県の認知度を高めるとともに、誘客促進を図る。

エコツアー推進事業

小豆島、豊島、直島を対象とした環境学習、体験学習を取り入れた教育旅行プランを情報発信し、誘客を行う。

グリーン・ツーリズム推進事業

本県の特徴に即したグリーン・ツーリズムの早期定着を図る。

洋上観光推進事業

瀬戸内海の観光資源としての活用を促進するため、島嶼部の魅力を情報発信する。

(3) 国際観光推進事業

本県を訪れる観光客の増加が期待できる台湾、中国、韓国等アジア地区からの観光客の誘客を図るため、旅行エージェントや観光マスコミ関係者の招聘、観光キャンペーンの実施、また、受入態勢の整備促進に努めるとともに、国際チャーター便の運航、国際定期便の利用を促進し、本県の国際観光の振興を図るため、旅行業者に対し助成を行う。

(4) 広域観光の推進

四国内の高速交通体系の整備に伴い、観光ニーズの多様化などに応えるため、四国四県等が一体となり、積極的に観光客の誘致宣伝に努めるほか、四国内観光ルートの定着と四国特有の観光資源である四国霊場八十八カ所をテーマにした取組みなどの事業展開を図るとともに、岡山との新たな広域観光ルートの開発・定着を図る。

癒しの四国観光推進事業

本四三橋や高速交通体系の整備に伴う観光の広域化に対応するため、四国4県等が一体となり、国内外からの観光客の誘致に努める。

香川・岡山観光推進事業

香川・岡山両県が連携・協力し、瀬戸内海の魅力を全国的に発信するとともに、アートやグルメなどのテーマ型の旅行商品を造成し、観光客の誘致に努める。

(5) 香川ブランド戦略推進事業

マーケティングの視点に立った重点的・戦略的情報発信を行うことにより、本県の認知度、イメージの向上に取組み、ブランド力を高める。

(6) わがかがわ魅力再発見支援事業

観光客に親切な観光地づくりを推進するとともに、県外から訪れる観光客に「魅力あふれる観光地」、「親切な観光地」を積極的にPRする。

ふるさと観光資源活用事業

既存の観光資源、またはあまり知られていないが活用方法次第で旅行商品となりうる観光資源を各市町とともに精査し、旅行商品化に向けた検討、及び積極的な情報発信を行い、県外観光客の誘客を図る。

香川フィルムコミッション支援事業

本県の知名度の向上を図り、県外観光客の集客力を強化するため、地元市町及び関係団体の協力を得ながら、映画、テレビ、CFなどのロケーション撮影の誘致、支援を行う。

県外客おもてなし推進事業

関係機関と一体となり、「受入態勢の整備」と「おもてなし意識の向上」を図り、観光関係者のホスピタリティの醸成に努める。

香川ミニ観光案内所支援事業

自家用車等を利用した観光客が安心して周遊できるよう、ガソリンスタンド等を指定した香川ミニ観光案内所において、道路、観光施設、イベントなどの情報提供を行い、観光客の受入態勢の整備や充実を図る。

観光香川旬の情報発信事業等

県内外に向けて広く観光香川の旬の情報を発信し、県内における地域間交流の拡大と県外からの観光客の増加を図る。

(7) 栗林公園の活性化

本県の主要観光地である栗林公園の魅力等を高め、賑わいを創出する。

栗林公園活性化事業

栗林公園の魅力の再認識・入園者増につながる、集客力のあるイベントや取り組みを行い、主要観光地である栗林公園を活性化させる。

栗林公園東門周辺再整備事業

来園者の利便性を向上させるため、動物園跡地を含めた栗林公園東門周辺において、駐車場などの施設整備を進める。

(8) 観光施設等整備事業

本県の伝統的観光施設である県立5公園(琴林、亀鶴、琴平、桃陵、琴弾)の施設の充実を図り、県民や県外観光客の利用を促進する。

(9) 県産品総合振興対策等事業

生産者・事業者が実施する県産品のブランド化のための商品の開発、改良、企画に対する支援及び一般消費者の生の声(情報)を取り入れるべく行う試験販売や商品の情報の発信を行うなど、県産品のブランド化を推進することにより、生産・流通の拡大を図るとともに、県内産業の振興を図る。

県産品総合振興対策事業

県産品のブランド化に向けて、総合的・横断的な戦略づくりを行うとともに、一元的な情報発信事業を行うとともに、県産品のイメージアップ及び需要拡大を図るためのイベントを開催する。

かがわブランド物語演出事業

「かがわプラザ」において、県民や観光客に対して、憩いの空間の提供と県産品の効果的な情報発信を行う。

(10) 東京アンテナショップ運営事業

共同アンテナショップを魅力ある店舗内容と円滑な管理運営体制に整え、観光情報の戦略的発信を行い、県産品のイメージアップや販路拡大と県内観光地への観光客の増加を図る。

(11) さぬき瀬戸・にぎわいづくり推進事業

さぬき瀬戸地域のにぎわいを創出するため、地域が有する豊かな自然や歴史、文化などの資源を活かした地域づくりを促進する。

島づくりリーダー養成事業

島づくりを担うリーダーを養成するとともに関係者のネットワークを形成するため、人材養成塾「さぬき瀬戸塾」を開催するとともに、リーダーらの活動を支援するためアドバイザーの派遣を行う。

元気な島づくり支援事業

島の住民や地元市町等が一体となって取り組む島づくりについて、そのスタート時期の支援を行い、継続的な島の発展につなげる。

島情報発信事業

島の住民を対象としたIT講習を開催し、島自らの情報発信能力を高めるとともに、市町と連携しながら島へのアクセスやイベント、島自慢等の情報を満載したホームページ「さぬき瀬戸しまネッ島」の管理運営を行う。

(12) サンポート高松のにぎわいづくり

サンポート高松を拠点として交流人口の増加を図り、本県全体のにぎわいを創出する。

「サンポートピア 2004」開催事業

サンポート高松グランドオープン記念事業として、サンポート高松を「ウォーターフロントを活かした芸術の香り高い文化都市」としてアピールし、都市のイメージアップを図るため、高松市やサンポート財団などとも連携し、全国大会や既存事業も活用しながら、各種事業をリレー形式で展開する。

アートツーリズム推進事業

サンポート高松を拠点に、本県の優れた文化資源を活用して、アートツーリズムの推進を図る。

国際会議開催費補助事業等

国際会議場等の利用促進を図るため、関係者に対する誘致活動や、県内で開催される国際会議主催者への助成等を行う。

8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

特になし

別紙

1 支援措置の番号及び名称

201001 映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

道路上において、ロケ撮影を行う、映画やテレビドラマの制作者

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

これまでフィルムコミッションを推進してきた結果、年間 10 件以上の映画、テレビ、CM等でのロケーション撮影を実施している。

現在も007シリーズの小説最新作「赤い刺青の男」の原作者のレイモンド・ベンソン氏が小説のクライマックスの舞台として直島を選んでいることから、007映画のロケ誘致活動を行っているなど、香川フィルムコミッションが主体となり、ロケーション撮影の誘致、支援を行うことにより、本県の知名度を向上させるとともに、県外観光客の集客力を強化する。

また、ロケーション撮影に際しては、当該支援措置により発出された通達に基づき、地域住民、道路利用者等の合意形成を図るための協議の場を設けるなど、ロケーション撮影の円滑化に努める。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

201002 民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化

2 当該支援措置を受けようとする者

道路を使用し、街の賑わいに資する経済活動を行う民間事業者等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

土地区画整理事業によって高松市南部の新しい商業地域として発展・賑わいをみせているレインボーロード周辺には、人々が集う公共空間が整備されており、地域のまちづくりイベント等の開催に非常に適したエリアとなっている。

現在、地元事業者が協議会を組織し、若者を中心に集客力を持つレインボーロード舗道において、フリーマーケット等を実施しているが、今回のイベント等における道路使用許可の円滑化を受けて、イベント等の実施回数が増加すれば、さらなるまちの賑わいの創出が期待できる。

他にも県内各地で各種のイベント等が実施されており、通達が発出されれば、その内容に基づいてイベント等の実施に向けた取組みを行っていく。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

230001 道路使用許可・道路占用許可の手續改善

2 当該支援措置を受けようとする者

- ・道路上において、ロケ撮影を行う、映画やテレビドラマの制作者
- ・道路を使用し、街の賑わいに資する経済活動を行う民間事業者等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

これまでフィルムコミッションを推進してきた結果、年間 10 件以上の映画、テレビ、CM等でのロケーション撮影を実施している。

現在も007シリーズの小説最新作「赤い刺青の男」の原作者のレイモンド・ベンソン氏が小説のクライマックスの舞台として直島を選んでいることから、007映画のロケ誘致活動を行っている。

今後も当該支援措置により、一方の窓口に一括して申請することが可能となることによって、申請主体の負担が軽減されることなどから、一層効果的なロケーション撮影の誘致、支援に結びつくため、本県の知名度の向上及び県外観光客の集客力の強化が期待される。

また、土地区画整理事業によって高松市南部の新しい商業地域として発展・賑わいをみせているレインボーロード周辺には、人々が集う公共空間が整備されており、地域のまちづくりイベント等の開催に非常に適したエリアとなっている。

現在、地元事業者が協議会を組織し、若者を中心に集客力を持つレインボーロード舗道において、フリーマーケット等を実施しているが、今回の支援措置により一方の窓口に一括して申請することが可能となることによって、イベント等の実施が促進されれば、さらなるまちの賑わいの創出が期待できる。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

2 1 2 0 1 4 観光関係の施策連携（共通プラットフォーム）

2 当該支援措置を受けようとする者

香川県（特定）

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

関係省庁、地方公共団体、経済団体等の横断的な議論の場（共通プラットフォーム）を活用して総合的な対応策を検討する。

〔共通プラットフォームで検討する事項〕

瀬戸内海を中心とする豊かな自然と文化（アート）等が1日周遊圏を構成しているという本県の特色を活かしたテーマ観光等についての新しい企画・提案を行い、県土の交流人口の増加につなげていく必要がある。

また、「癒しの四国」等をキャッチフレーズに、四国霊場八十八カ所をテーマにするなど、四国各県と連携した広域観光を推進するとともに、新たな広域観光ルートの開発・定着を図る必要がある。特に、外国人観光客に対しては、広域観光連携の強化が重要である。

そこで、官民や県域を超えた企画、コーディネート等については、各実施主体と連携を図るとともに、「共通プラットフォーム」を活用し、検討を進めていきたい。

関係地方支分部局・・・国土交通省四国地方整備局、四国運輸局

別紙

1 支援措置の番号及び名称

212016 「一地域一観光」を推進する「ひと」「情報」の充実

2 当該支援措置を受けようとする者

- ・ 県、市、町の観光協会
- ・ 地域の資源を活用し、磨き上げる、まちづくり型観光を進める地域のまちづくり協議会

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

魅力的な観光地づくりは、住んでいる人たちが地域の魅力に気付き、地域を愛し、磨き上げていくことが必要であることから、平成16年度に実施される支援措置である観光カリスマ塾等に参加したり、各地の先進的なボランティアやNPO活動の内容、また、地域づくりの先進事例等の情報を得ることによって、気付きとつくり上げる努力を活発にし、観光地としての知名度のアップと観光客の増加につなげて行きたい。

中でも、栗林公園、屋島、琴平、小豆島、塩江などといった老舗観光地においては、平成16年度において、国の観光地づくりデータベース等を活用し、先進的な事例を研究すること等によって、老舗の名に頼らないハード・ソフトの工夫や新たな魅力づくりに積極的に取り組み、観光地としての賑わいの再生を図っていきたいと考えている。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

212019 観光客向けタクシー等タクシーの運賃・料金の多様化を実現するための環境整備

2 当該支援措置を受けようとする者

タクシー事業者、香川県乗用自動車協同組合

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

現在運行している「うどんタクシー」の利用料金は、時間制運賃が適用されているが、機動的で柔軟な料金設定が可能になれば、利用者の多様なニーズに対応でき、ツアー企画の設定が促進されるなど、香川県の代表的ブランドであるさぬきうどんを活用した継続的な観光客誘致が期待できる。

高齢者・障害者・子ども連れも含めて誰もが安心して観光を楽しめるよう、タクシー事業者の工夫を活かした多様なサービスが提供できれば、バリアフリー観光の一助となり、誘客の促進を図ることができる。

別紙

1 支援措置の番号及び名称

213004 エコツーリズムに対する支援

2 当該支援措置を受けようとする者

香川県（特定）

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

本県では、香川瀬戸内海教育旅行プラン”TOMクルーズ”を企画し、そのモデルコースについて、中学校・高等学校や旅行エージェントの担当者の体験ツアーの実施や全国への情報発信を行っているところであるが、環境省が作成するエコツアー推進マニュアルや、ツアー情報等の支援措置を参考にするとともに、さらにこれを活用して適切な見直しを行うことで、当該地域でのエコツアーの魅力を強くアピールすることができる。

- ・TOMクルーズ・・・Technologyの直島、Oliveの小豆島、Mildの直島の頭文字をとった「香川瀬戸内海教育旅行プラン」。豊島産廃不法投棄問題や先駆的なリサイクル施設、環境調和型まちづくりに向けた地域の取組みを学習し環境問題への関心や知識を深めるとともに、瀬戸内海の豊かな自然の中での農業体験や漁業体験などを通して、海や森、生命の大切さを学べるプラン。